

鳥居本学園 コミュニティ・スクール



学園教育目標

未来に挑戦、
高めよ鳥居本魂(spirit)

さ 支え合う・徳
ん 運動する・体
あ 愛する・鳥居本
か 考える・智

第3回学校運営協議会 11月6日(水) 14:30~

鳥居本小学校と鳥居本中学校は、平成27年度に小中一貫型小・中学校「鳥居本学園」としてスタートしました。日頃から小中学校の合同行事や交流活動等も盛んで、9年間を見通した確かな学力の育成と社会性の育成をめざしています。鳥居本学園として一つの学校運営協議会が設置されており、委員は、小・中学校の地域学校協働活動推進員や教員等から構成されています。

協議会では、まず10月末に行われた「鳥居本学園10周年記念式典」についての意見が出されました。その後、同日のフリー参観をもとに話し合いが進められました。タブレットや電子黒板、アクティブラーニング教室などICTを活用した学習や、小学校での生き物とふれ合う体験学習、中学校のALTとの英語の授業の様子などが話題になりました。地域の人の協力のもと、多様な学びが展開されていることを実感しました。

子どもたちが、公民館の文化祭について「おいしい食べ物もあって、一日中楽しかった!」と話しているのを聞きました。コロナ禍前のように、**地域の子どもたちも大人も楽しむことができていい機会**でした。

高学年が1年生に一輪車の乗り方を教えていてよい姿だと思いました。

朝の挨拶運動に参加しましたが、自分たちが子どもの頃よりも、しっかり並んで登校できていると思いました。小学生も中学生も**あいさつがよくできています**と感じています。



「地域とともにある学校」×「学校を核とした地域づくり」

鳥居本学園では、地域課題の一つとして少子高齢化があげられます。今回の10周年記念式典に際し、子どもたちが地域の方々から「小野町太鼓踊り」を学び、当日の式典の中で披露しました。**「地域を愛する子どもの育成」と同時に、「伝統文化の継承」につなげる素晴らしい取組**だと感じました。



太鼓踊りを教えていたので、今日子どもたちから「踊りのおっちゃんや」と声をかけてもらえました。**子どもとつながりができて嬉しかったです。**